


産業廃棄物処理計画書		令和5年4月17日
茨城県知事 大井川 和彦 殿		提出者 住 所 茨城県つくば市栗原873番地 氏 名 株式会社 ム ラ ノ 代表取締役 村 野 寿 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 029-857-6258
		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社 ム ラ ノ	
事業場の所在地	茨城県つくば市栗原873番地	
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：土木・建築・舗装工事業	
② 事業の規模	前年度の完成工事高：692,049千円（税抜き）	
③ 従業員数	従業員14名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>工事現場 → <div>コンクリート殻 アスファルトコンクリート殻</div> → <div>産業廃棄物処分場 (リサイクル)</div></div>	

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者（社長）

－

産業廃棄物の処理に関する各事項の決定・承認

廃棄物管理担当者（総務部長）

－

産業廃棄物の処理方針策定・処理計画作成

現場代理人

－

処理業者の選定・委託契約の締結・作業現場の
廃棄物の管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	排 出 量	2457.90 t	121.27 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 積込時の土砂の混入を出来るだけおさえる		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	排 出 量	3,200 t	120 t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 上記の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 他の廃棄物と混ざらないように分別を行う
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記の継続

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	全処理委託量	2457.90 t	121.27 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2457.90 t	121.27 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を行っている		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート殻	コンクリート殻
	全処理委託量	3, 200 t	120 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3, 200 t	120 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施する		
※事務処理欄			

(第6面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排 出 量	0 t	6.70 t
	(これまでに実施した取組) 木くず ・ 積込時の土砂の混入を出来るだけ抑える		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排 出 量	330 t	1,530 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず ・ 積込時の土砂の混入を出来るだけ抑える		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記の継続		

(第7面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

③ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	6,70 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
④ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	330 t	1,530 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

(第8面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	全処理委託量	0 t	6.70 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	6.70 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	全 処 理 委 託 量	3 3 0 t	1, 5 3 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	1, 5 3 0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物（ガラス他）	混合物（がれき他）
	排 出 量	2. 4 1 t	1 0 3 1. 7 1 t
	（これまでに実施した取組） ・ 行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物（ガラス他）	混合物（がれき他）
	排 出 量	1 0 t	3 0 0 t
	（今後実施する予定の取組） ・ 上記の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 行っておりません		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 上記の継続		

(第 1 1 面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

⑤ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合物(がれき他)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
⑥ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合物(がれき他)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合物(がれき他)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合物(がれき他)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

(第12面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合(がれき他)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合(がれき他)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合(がれき他)
	全 処 理 委 託 量	2. 4 1 t	1 0 3 1. 7 1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2. 4 1 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を行っている		

(第13面)

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合物(ガラス他)	混合(がれき他)
	全処理委託量	10.00t	300t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施する		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	9. 8 4 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	排 出 量	3 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 上記の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 行っておりません		
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・ 上記の継続		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

⑦ 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
⑧ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・行っておりません		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後の実施の予定はありません		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	9.84 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	9.84 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を行っている		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	
	全処理委託量	3 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、 書面による契約を実施する		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。